

コロナに負けるな—後期高齢者 宝塚で再会

ほとんどが後期高齢者になった昭和43年卒（四三会）は新型コロナ下、10月9日（月）関西在住の10名が宝塚に集まりました。毎年のように、旅行をしたり、アメフトを見たり、ラインのグループメールで近況を連絡し合う仲の良い学年と思っています。当日は、宝塚駅で集まり歌劇場、新装なった宝塚ホテルや、関西学院小学部などお喋りをしながら散策しました。その後、「がんこ宝塚苑」で会食。鍋は「一人鍋」、となりや前の人とは、ソーシャルディスタンスの対策がしてありました。同年代の会合では病気の話が多いのですが、この会は比較的那い話題は少なめ。宝塚ホテルで結婚式をしたとか、商学部では1学年600人で女性は3人、女子学生は職員用トイレを使っていたとか、サマーストアを敦賀へ移した年で忙しかったとか、昔の楽しい話題で盛り上がりしました。早く、コロナがおさまり、関東や岡山、九州の会員も交えた集まりをしたいと言いながら、お開きとなりました。

昭和43年卒 橋野喜紀

